



東京海上日動では、各種自然災害に関する最新情報をスマートフォンからも簡単に確認できる「自然災害リアルタイム情報」サービスを提供しています。
防災科学技術研究所が提供する独自情報も確認することができますので、事故防止・被害軽減にお役立ていただければ幸いです。

みんなの声

今回のテーマ

「みなさまが普段お使いの アラート通知」

台風、大雨、乾燥などの情報を教えてくれるサービスが世の中で多く提供されています。
みなさまが活用されているアラート通知についてぜひ教えてください。

ご回答はこちらから

次回以降のメールでご紹介します！

- ▶ 自然災害発生時に大切なのは、“今”の情報を知ること
- ▶ 新たな防災気象情報の運用が始まりました
- ▶ 「自然災害リアルタイム情報」の使い方
- ▶ 前回の「みんなの声」結果発表



自然災害発生時に大切なのは、 “今”の情報を知ること

台風や大雨などの自然災害は、状況がめまぐるしく変化します。例えば、屋外での活動中にて、直前まで晴れていた場所でも、急に雨や風が強まる場合があります。

自然災害が心配される状況において、ご自宅周辺の警報や注意報を確認することは非常に大切です。ご自宅周辺や、外出先では「現在地」の状況を早めに確認しましょう。早めの確認が、命を守る行動や被害の軽減につながります。



新たな防災気象情報の運用が始まりました

気象庁は5月29日から防災気象情報を見直しています。まず、河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報名のすべてに統一された「警戒レベル（1～5）」の数字を付し、避難の要否を直観的に判断しやすくしています。また、特に警戒レベル4相当の従来の情報名は「氾濫危険情報」「土砂災害警戒情報」とバラバラでしたが、「レベル4〇〇危険警報」に統一されました。

気象庁は、レベル3やレベル4に相当する防災気象情報が発表された場合には、土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度を地図上で確認できるキキクルや河川の水位情報などを確認し、早めの避難を心がけるよう呼びかけています。

なお、キキクルは、「自然災害リアルタイム情報」からも閲覧できます。「自然災害リアルタイム情報」の表示も、順次、新形式に変更する予定です。

主な変更点

- 警戒・注意報の情報名に「レベル」が付いて発表されるようになりました
- 警戒レベル4相当の情報として、「危険警報」が新設されました
- 河川の氾濫に関して、「特別警報」が新設されました

	河川氾濫	大 雨	土砂災害	高 潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

出典：気象庁「新たな防災気象情報について（令和8年～）」掲載資料を加工して作成
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

「自然災害リアルタイム情報」の使い方

自然災害に関する情報を確認したいときに役立つサービスが、東京海上日動の「自然災害リアルタイム情報」です。本サービスは、どなたでも無料で利用できます。

「自然災害リアルタイム情報」では台風や豪雨・洪水、大雪・寒波、地震・津波など、さまざまな自然災害に関する情報をタイムリーに提供しています。ここでは豪雨・洪水を例にとって、活用方法をご説明します。

豪雨・洪水情報を確認するとき！

STEP 1

東京海上日動マイページ*内のリンクまたは右のバナーからアクセス！



*東京海上日動の商品をご契約いただいている個人のお客様向けのサービスです。

STEP 2 まずは「警報・注意報」タブをチェック！

気象庁が発表する大雨特別警報・大雨危険警報・大雨警報などを確認できます。

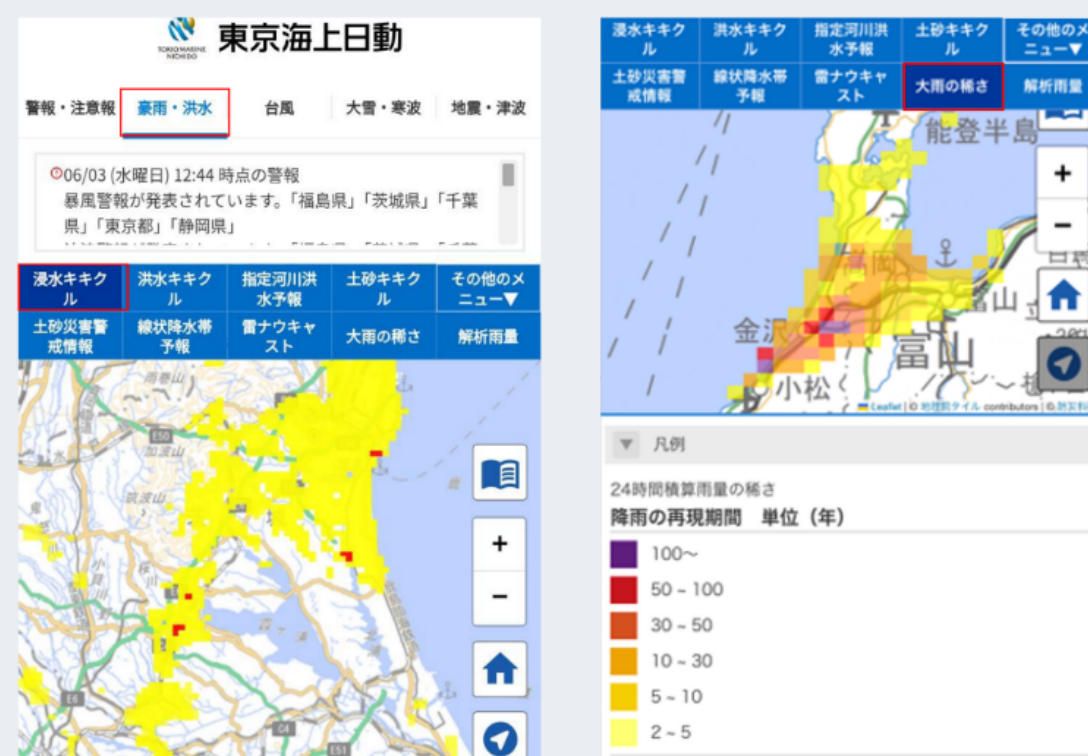


スマートフォンの位置情報を利用すると、現在地周辺の自然災害情報を確認できます。



STEP 3 「豪雨・洪水」タブで関連情報をチェック！

浸水キキクルや洪水キキクルといった情報だけでなく、「大雨の稀さ」という独自情報も確認できます。



その地域にとって どれくらい稀な大雨か

「自然災害リアルタイム情報」では、その地域で観測された雨の量が、どれほど珍しいものか（何年に一度か）をあらわす「大雨の稀さ（まれさ）」という指標を独自で提供しています。

気象庁が発表する警報・注意報やキキクルとあわせてご確認ください。特に、数十年に一度などの、めったに起こらない規模の大雨の場合は、早めの避難や安全確保など、より高い警戒意識を持った行動を心がけてください。

なお、「自然災害リアルタイム情報」では「積雪重量」や「着雪重量」といった独自情報も提供しています（冬季のみ配信）。

前回の「みんなの声」結果発表

前回のみんなの声にご回答いただき誠にありがとうございました。面白いことに地域を問わず共通した言い伝えが複数ありましたので、その1つをクイズ形式で発表します！

前回のテーマ

「災害にまつわる
我が家や地域の言い伝え」

Q

同じ意味の言い伝えでも、地域により
〇〇に入る虫の種類が異なりました。
〇〇には何の虫が入るでしょうか？

「〇〇が低い位置に巣を作ると台風が多い。」

正解は・・・

A

ハチ(東京、愛知、福岡)
クモ(埼玉)

他にも、地域によって〇〇が異なる言い伝えがありましたのでご紹介します！

・〇〇が低く飛ぶと雨が降る
→ツバメ/トンビ/カモメ
・〇〇山が見えるうちは雨は降らない
→弥彦山/富士山/浅間山
・〇〇が暴れると地震が起きる
→イヌ/ネコ/カラス/ニワトリ/キジ/オオサンショウ
ウオ/ナマズ

今回のみんなの声への回答もぜひよろしくお願いします。

弊社Webサイトにて、日ごろからの備えに役立つ防災・減災情報
を見ることができますのでぜひご活用ください。

あしたの笑顔のために
防災・減災情報サイト

東京海上日動マイページから
ネットで事故のご連絡が可能

所要時間
3～10分

①東京海上日動マイページを開き画面の一番下の「事故・請求」メニューをタップ

②該当する保険のカテゴリをタップ(例:火災保険)

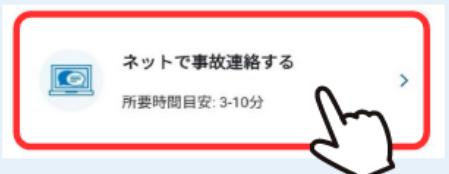
③「ネットで事故連絡する」をタップ



①



②



③